

# 行 ってこーわい

# 会 ってこーわい

## 「佐藤拓さん 三好和樹さん」

「第6回商い甲子園」で準優勝  
伊予農業高校特用林産科

No. 61

2013年夏一。日本最高気温を記録した高知県で、高校生による商いの熱き戦い「商い甲子園」が開催され、農業高校として初出場した伊予農業高校特用林産科チームが準優勝に輝きました。

大会には、8県29チームが参加。安芸本町商店街内の街路に、それぞれがブースを設置し、訪れた1000人以上のお客さんに対する、商品の展示・売り方などを競いました。同チームは、3年生を中心とした8人で参加。愛媛が誇る、日本一の農産物を使った伊予柑ゼリー・はだか麦パン・八幡浜ミカンジュースを販売しました。

リーダーの佐藤拓さん＝筒井＝は、呼び込み係を担当。会場中に響き渡るほどの大きな声とはじける笑顔で、お客さんを呼び込みました。「人と接するのがすごい好きで、誰とでも話せます。『いらっしゃい』の一言を、とにかく元気に、笑顔でしました」。佐藤さんが呼び込んだお客さんにてきぱきと対応するのは三好和樹さん＝西古泉＝。「暑い日だったので、ジュースに氷をさっと入れたり頑張りました」

こうした心ある接客は、お客さんのハートをがっちりつかみ、お客さんによる投票では、同チームは1位に選ばれました。「優勝を狙っていたので悔しかったけど、お客さんには評価してもらってうれしかったです」と真夏の激闘を振り返る2人。11月10日に、伊予農業高校で行われる農業祭では、きのこの販売を手伝う予定です。「全国2位の力を発揮して、いっぱい売りたい」とさらなる意気込みを見せていました。



1. 高知県知事賞（準優勝）受賞を喜ぶ佐藤さん（写真右）と三好さん（左）。この笑顔がお客さんと賞を引き寄せた
2. 特用林産科のブース。日本一をテーマにしたディスプレイと呼び込みで勝負

### ▼編集後記

広報まさきの「1歳です。よろしくね」。町内に住む天使の笑顔を毎月掲載しています。赤ちゃんの笑顔を見ると、自然と誰もがほほ笑んでしまいます。今月はそれに勝るとも劣らない、ご長寿の笑顔がたくさん出てきます。「100歳です。よろしくね。」と言わんばかりの元気な笑顔を見ると、こちらもしんがせな気持ちになりますね。紙面を通じて、笑顔が連鎖するような写真が撮れるように頑張りたいです。（松田）

先月の9月号の広報で掲載した「笑いは健康と長寿の特効薬」という言葉。長寿者訪問での皆さんの笑顔を見てみると、その記事は本当だなと実感しました。

戦前、戦後を駆け抜けていった皆さんは、うれしさや楽しさ以上に、今の私たちには分からない苦しさを、その中で見せてくれた素敵な笑顔に、元気をもらいました。私も笑顔を絶やさずになりたいなと思います。（久保）

Proud! Japan

※日本代表の写真を掲載しよう

### ダメ。ゼッタイ。10・11月は、麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間

麻薬や覚せい剤などの薬物の乱用は、あなたの脳を侵し、身体をボロボロにします。また、周りの社会にも計り知れない危害をもたらします。1回だけと思って始めると薬物の「依存性」と「耐性」によって使用する量や回数が増え、自分の意志ではやめることができません。「ダメ。ゼッタイ」と断る勇気を持ちましょう。

#### ▼相談窓口

中予保健所 ☎909-8755

※金曜日 13時～15時のみ

県心と体の健康センター ☎911-3880

※月～金曜日 8時30分～17時15分（電話相談のみ）